

探究レポート 7章テンプレート(記入用)

といのタネ

氏名: _____ クラス: _____ 提出日: _____

指定字数: _____字　問いの分野: _____

ステップ1 1行要約を書く

ここでは、レポート全体を1文にまとめます。文がきれいでなくても構いません。

私の問いは「_____」で、
_____を調べた結果、
_____と分かった。

記入例: 私の問いは「通学路の自転車事故は、どの時間帯に多いか」で、市の公開データとクラス30人へのアンケートを調べた結果、朝の登校時間帯に多いと分かった。

ステップ2 字数を7章に配分する

ここでは、指定字数を章ごとに割り振ります。割合に指定字数を掛け、自分の字数の欄に書きます。残りの5%は見出しや図表の説明に回します。

章	割合の目安	自分の字数	書き終えた日
1 要旨	5%		
2 はじめに	15%		
3 方法	15%		
4 結果	25%		
5 考察	25%		
6 まとめと今後の課題	10%		
7 参考文献	字数外		

書く順番の目安は、方法、結果、考察、まとめ、はじめに、要旨の順です。

ステップ3 章ごとのメモを書く

ここでは、各章に入れる材料を単語や数字で集めます。文章にするのは次の段階です。

章	書くこと	自分のメモ
2 はじめに	問いを立てた理由と問いの文	

章	書くこと	自分のメモ
3 方法	調べた日付・対象・人数・資料	
4 結果	数値・観察・聞き取りの事実	
5 考察	結果から言えること・言えないこと	
6 まとめ	問いへの答えと残った疑問	
7 参考文献	著者・題名・発行元・年・URL・閲覧日	

ステップ4 結果と考察をつなぐ

ここでは、考察の文が結果のどれに基づくかを1行ずつ対応させます。言えないことの欄も埋めると、言い過ぎを防げます。

番号	結果（事実・数値）	考察（そこから言えること）	このデータでは言えないこと
例	事故の届出が朝の時間帯に多い	登校が重なる時間帯の見守りが手がかりになる	原因が速度かどうか
1			
2			
3			
4			

ステップ5 AIの点検と修正記録を残す

ここでは、AIの指摘と、自分がどう直したかを記録します。直す文は自分の手で書きます。AIに貼る前に、氏名や学校名を消しておきます。

日付	AIの指摘	当たっているか	自分の直し方・外れている理由
例	まとめの答えが問いとずれている	当たっている	問いを「時間帯」に絞って書き直した

ステップ6 提出前に見比べる

ここでは、提出前に要旨・はじめに・まとめの3か所を並べて読み、当てはまる項目に印を付けます。

- [ ] 要旨・はじめに・まとめで、問いの言い回しが同じになっている
- [ ] 要旨とまとめで、答えが一致している
- [ ] 結果の章に「〜と思う」が入っていない
- [ ] 考察の章で新しいデータを出していない
- [ ] 参考文献は、自分で開いて読んだ資料になっている

- [ ] ウェブの資料に閲覧日を書いている
- [ ] AIを使った範囲を、学校の指示に沿って書いている
- [ ] 聞き取り相手の氏名など、許可のない個人情報を書いていない

担当の先生に確かめたいこと: _____